



捨てればごみ
使えば資源

富士見市マスコットキャラクター「ふわっぴー」

つるせ西だより

第112号(5月号) 2016. 5. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立鶴瀬西交流センター

〒354-0021

富士見市大字鶴馬3575-1

TEL:049-251-2791

FAX:049-255-9707

まちの話題

上沢公園大にぎわい

上沢公園は新設オープンから、間もなく2年を迎えます。施設や環境に恵まれ、近隣の高齢者や親子連れの交流の場ともなっています。



休日には、遊具に戯れ元気に駆け回る子どもたちの歓声でにぎわっています。

待たれた踏切道整備

県道三芳・富士見線と交差する東武東上線109号踏切道(池袋寄り)の拡張工事が3月16日に完成しました。車道と歩道が区分けされて、地域の皆さんにも安全で横断しやすくなったと喜ばれています。



集会所のエアコン無料化

集会所のエアコンが、今年3月から無料で使用できるようになりました。丸池集会所には新しいエアコンが設置され、体操や踊り・会議など快適に利用できるようになりました。ただし後始末をきちんとしましょう。



職員異動のお知らせ

4月1日付で赤岡由利主査が鶴瀬公民館に異動し、橋本采菜主事補が配属されました。どうぞよろしくお願ひします。

鶴瀬西地域の風景 112



端午の節句を祝う(鶴馬)
皇月の空に威勢よく泳ぐ鯉のぼり。こんな風景は、鶴瀬西地域では見かけることも少なくなりましたが、たまに鶴馬で見受けた鯉のぼりに幼心がよみがえった。
生命力の強い鯉は、男の子の立身出世の象徴とされているが、住環境の変化でスペースをとる外飾りよりも鎧兜や武者人形などの内飾りが喜ばれるようになった。古くから端午の節句には、ちまきや柏餅を食べ、菖蒲湯に浸かる習慣があり、家族で子どもの成長と幸福を祈願した。
撮影・文
川上喜久治編集委員